

つながる／ひろがる／フェミ・ジャーナル

ふえみん

contents

- 2.....日本は核廃絶を求めているなかったの？
- 3.....中国残留邦人2世、生保受給で在留延長不可!?
- 4.....高齢者の「胃ろう」を考える
- 5.....日本軍「慰安婦」問題はこれを見て！新ウェブサイト公開
- 6.....film 「ジンジャーの朝 さよなら、わたしが愛した世界」

毎日のように、子どもたちがホームレス状態の人を暴行し襲撃する事件が日本中で起きている。ホームレスを支援してきた著者たちは、事件の背景には「ホームレス」は社会のクズだ、役立たずだ、という間違った思い込みがあると考え。実は野宿者の大半は空き缶集めなどで働き、運悪く定職を失った人々だ。そうした事実を伝えるために子どもたちにホームレス問題の授業を行い、ビデオも制作している。

「homeless」=安心できる住環

境にない人々だが、子どもたちもまた安心できる環境にはいないのだ。

北村さんが子ども時代、病気で働けなくなった父を自分の言葉で自死に追い込んだのではないかと悔恨し（遺族が悔恨を抱く必要はないのだけれども）、それを生徒の前で語る言葉は心を打つ。こうした授業を行うにあたり役立つ資料や発問集もあり、授業づくりに役立つ。（衣）

(本の価格はすべて税抜きです)



世界に同時代ながら、同時に世界の中で生きる、自分自身を見つめていた。ラスト、クレジットが上がりきった後、ある名前がスクリーンに浮かぶ。それが誰か。本作を見終わって眼には明かたろう。半世紀を経て、ポッターが、ようやく描けた「あの時代」の柔らかい部分。当時を知る者は、心に痛みを覚えずにはいられない。だが、「戦後」に始まった変化の潮流を振り返ることは、今を「戦前」にしないためにも必要だ。「ジンジャーの朝」は、サリー・ポッターの監督としての分岐点になり、いつか必ず、時代の潮流を変えた作品として、評価を得ることになるだろう。

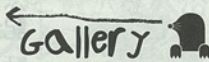
ドキュメンタリー映画

『天に栄える村』

2009年4月から福島県・天栄村の「天栄米栽培研究会」の米作りを追い始めた原村政樹監督。2年後、福島第1原発の事故が起きた。米のおいしさをめざした農家の人々の、試行錯誤をくり返し、悩み抜きながら放射能ゼロの米作りをあきらめない姿を描く。生産者の生の声を聞いてほしい。自主上映も呼びかけている。



上映 9月18日(水)19時、20日(金)17時 (東京・ボレボレ東中野)ほか
問合せ 桜映画社 TEL 03(3478)6110



books

交通犯罪 悲しみの先に見えた「家族の光」
小沢亮則、小沢樹里 著
飲酒運転の暴走車によって両親が死亡。悲しみを乗り越え、重い障害が残った弟と、加害運転手・同乗者・飲酒提供者の罪を問う裁判で闘った著者の罪深さを知らしめる良書。1800円 リベルタ出版

若菜の無窮花 李栄汝 著
韓国・済州島にルーツを持つ在日3世の物語。強固な家長体制を自分の居場所とする祖母、女性差別を理解するも受容する母、2人の姿からフェミニズムを知る娘の、愛と葛藤の姿を描く。生きた言葉が胸に響く。1200円 三書房

正義・ジンダー・家族
スーザン・M・オーキン 著
山根純佳ほか 訳
古代ギリシャ・ローマから現代に至るまで、「正義」をめぐる政治社会学論は、公的領域のみを論じ、私的領域は対象外。著者は公私二元論を根底から問い、正義になった家族を実現する道を探り出した。4400円 岩波書店

未来につなげる 男女共同参画 ジンダー視点の実践活動
池田政子 & やまなしの仲間たち 編著
山梨県の各地で活動する人・研究者・自治体それぞれが、知恵を出し合った男女共同参画への歩みを紹介。混合名簿や条例づくりなど地道なジンダーの実践が興味深い。2300円 生活思想社